小さなアヒルの大きな愛の物語　あひるのクワック（1989）

メディア TV　アニメ
ジャンル ファミリー
製作国 日本
TV放映 1989/04/03 ～ 1990/03/29
テレビ東京

【解説】
　オランダの戯曲作家ヘルマン・ヴァン・ヴェーンによる原作を元にした、擬人化された動物たちが主役のTVアニメ。日本、西ドイツ、フランス、オランダの合作作品。生まれてすぐ家族全員を車に轢かれて失った、アヒルのアルフレッド・ヨードカス・クワック。彼はそんな境遇を哀れんだモグラのハンクによって育てられた。悲劇を介した半生ながら、他者への愛の大事さをハンクから教えられたクワックは健全な心の若者に育つ。だが現実の世界で彼が向かうのは恐怖と独善で他人を支配せんとするファシズムの嵐、それに見かけばかりの体色で他人を差別するアパルトヘイトなどの害意などだった。児童番組ながら重厚なテーマを扱い、権力に固執する独裁者で「カラス党」の党首ドルフとその側近ゲッペなど明らかにヒットラーとゲッペルスを念頭に置いた仇役も登場。さらに白いガチョウと黒いアヒルの相克などアパルトヘイトになぞらえた主題まで語られる。

【クレジット】
監督 斉藤博
作画監督 ハロルド・ジッパーマン
ハンス・バッハー
白梅進

このデータベースのデータおよび解説文等の権利はすべて株式会社スティングレイが所有しています 。
データ及び解説文、画像等の無断転用を一切禁じます。 Copyright (C) 2024 Stingray. All Rights Reserved.